

ゆりはま 議会だより

Vol. 84

令和7年2月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



湯梨浜町議会
ホームページはこちら



ふるさと納税増額見込み・・・	2
ゆりはま若者会議発表.....	4
病児保育運営開始	6
一般質問	9
ふれあい意見交換会.....	14

「東郷池に向けて一斉放水」
(町消防出初式)

令和6年12月定例会

一般会計補正予算

2億3070万円を追加し

総額 123億924万円

令和6年12月定例会は、12月6日から17日まで開催されました。
今定例会に提案された令和6年度一般会計補正予算などの議案を慎重に審議し、提案された46議案すべて、原案のとおり可決しました。
また、議員発議により、国に提出する意見書などの2件を原案のとおり可決しました。

ふるさと納税にも 米不足の影響

補正予算

寄附金が増額見込み

・ふるさと湯梨浜応援基金事業

5564万円

特別広告と米不足による米需要増加の影響で、寄附金が当初の想定より増額となる見込み。寄附受付経費5千454万

農作物被害の減少を図る

・鳥獣被害総合対策事業

271万円

イノシシや鹿、ヌートリアなどの野生動物による農作物被害が増加している。特にイノシシは、当初見込みの300頭以上を既に捕獲、鹿やヌートリアも、前年より急増しているため、鳥獣被害対策実施隊の活

円、新規納税サイト導入経費110万円を増額する。



増え続ける鳥獣被害

職員の旧式パソコンを計画的に更新

・情報化推進経常経費

367万円

全職員が使用している業務用パソコンの計画的な更新を、期間内に確実に実施するため、旧式パソコンの買い替えを一部今年度以前

動費用及び有害鳥獣捕獲者への奨励金による支援を行い、農作物被害の減少を図る。

カメムシ防除費用を補助

・果樹園緊急防除支援事業補助金

74万円

7月以降に、5アール以上の梨・柿・ぶどうのほ場において、収穫までに実施した防除費用を補助する。53戸、散布面積2千540アールについて補助金額74万円を増額補正する。

倒しで行う。購入するのはデスクトップ型PC14台、ノート型PC17台。



町の特産品 二十世紀梨

その他

財産（土地・建物）の貸付について

中高一貫校を運営する学校法人湯梨浜学園（湯梨浜町田畑、理事長 坂根徹）に土地・建物を貸し付けているが、新たに旧東郷保育所跡地を駐車場として貸し付ける。

貸付の期間は令和7年4月1日から令和17年3月31日まで。

〈土地〉

○旧東郷小学校（学校用地）

・貸付料…年額50万円

○旧東郷保育所（宅地）

・貸付料…年額7万円

〈建物〉

○旧東郷小学校校舎

・貸付料…無料

教育委員を新たに任命

湯梨浜町教育委員会委員の任命について同意した。

（敬称略）

・住所…湯梨浜町大字久見

なかむら

・氏名…中村 博孝

ひろたか

5つの財産区管理委員の選任に同意

・橋津財産区管理委員
・宇野財産区管理委員
・舎人財産区管理委員
・東郷財産区管理委員
・花見財産区管理委員
町内の財産区のうち5つの財産区の管理委員の選任について同意を求められ、いずれについても同意した。



各種イベントにひっぱりだこの
湯梨浜学園書道部

湯梨浜町選挙管理委員及び補充員の選挙について

湯梨浜町選挙管理委員及び補充員の任期満了に伴う選挙が実施された。今回の選挙では、各4名の定数のうち新たに各2名の選挙管理委員及び補充員が選出された。

新たに選出された選挙管理委員及び補充員は次のとおり。

（敬称略）

〈選挙管理委員〉

○住所…湯梨浜町大字上浅津

氏名…安藤 人美

○住所…湯梨浜町大字田畑

氏名…三ツ田 達彦

〈補充員〉

○住所…湯梨浜町大字北福

氏名…川田 信行

○住所…湯梨浜町大字下浅津

氏名…吉岡 恵



4月に実施される町議会議員選挙

11月29日と12月12日に開催した総務産業常任委員会で、執行部から事業説明を受けるとともに、事業の執行状況や効果など詳細について質疑を行いました。その主なものを掲載します。

ゆりはま若者会議「移住・定住の促進」の検討結果を発表

☆鳥取看護大学の土居教授をコーディネーターに、公募で選ばれた若者会議の委員15人が3グループに分かれて検討し、「移住・定住の促進」について提言した。

問 提言の内容は。

答 チーム「ゆりはまストーリーミング」の提案は、ストーリーミングフェスを開催して湯梨浜町の魅力を発信し、若者世代の定住やUターンのきっかけとしたいというもの。他に2チームが提言を行った。

問 提言を受けての今後の対応はどうするか。

答 担当課で事業化ま



発表する若者会議のメンバー

たは既存事業への反映について検討する。

RVパーク実証実験実施

☆鳥取県は東郷湖羽合臨海公園パークビジョンに基づき、各公園エリアの整備目標を設定した。また、RVパークの実証実験を行った。

問 ※RVパークの実証実験結果は。

※RVパーク

余裕のある駐車スペースやトイレの設置など、快適に安心して車中泊ができる施設のこと。

答 36組の予定が、実際の利用は20組46名で、稼働率は55・6%であった。東

海、近畿、中四国からも来園があった。

問 東郷湖の足湯周辺でキャンピングカーがテールを設置して食事をしている



くつろぐRVパーク利用者

のをよく見かけるが、このような利用についてどのように考えているか。

答 公園オープンスペースとして基本的には自由に使用できる。ただし、今後公園利用の高度化により、RVパークとして一部占有すれば料金が発生することもある。

発祥地モデル用具の販売で情報発信

☆グラウンド・ゴルフ発祥地モデル用具を製作し、発祥地としての知名度を高めるとともに、競技人口の増加を図る。

今年度はオリジナル用具セットの設計開発、製造品の許可、知的財産権、販売権など諸手続を行い、令和7年4月から国内外で販売する。

問 発祥地モデルを 作る意義や利益見込
また、製造販売を行う企業
「ASPRYER」はどのような企業か。



海外からも多くのプレーヤーが参加

答 同社は、町内企業でこれまでアシックスの下請けとして製造を行っていた。発祥地である湯梨浜からの情報発信や、ふるさと納税の返礼品としての活用などのメリットがある。

問 ポスターやチラシの作成など、ふるさと納税関連の売り上げを増やすための工夫は。

答 同社が特許出願中の3Dシャフトなど、独自の技術開発をアピールしながら取り組みを進める。

問 同社が特許出願中の3Dシャフトなど、独自の技術開発をアピールしながら取り組みを進める。

条例改正を失念

☆会計年度任用職員の雇用条件のうち、職務階級に3級及び4級を追加する。

問 条例を改正せずに、規則だけ改正して給料を支払ったことは問題では。

答 規則だけ改正し、条例改正を怠っていた。重大なミスであった。

問 3級及び4級の高度な知識を有するとはどういうことか。

答 特殊な技能を持った人が該当となる。

道の駅はわいレストラン事業者が決定

☆道の駅はわいのレストラ

ンが空き店舗となっていたが、利用希望の応募があり、選考審査会を開催し事業者を決定した。

問 事業者の詳細とオープン予定は。

答 事業者は株式会社ネクステファーム（湯梨浜町田後）。現在、県内外に7店舗の飲食店を営んでいる。オープンは令和7年春を予定している。



にぎわい復活に期待

11月28日と12月13日に開催した教育民生常任委員会で、執行部から事業説明を受けるとともに、事業の執行状況や効果など詳細について質疑を行いました。その主なものを掲載します。

病児保育、令和7年1月運営開始

☆病児保育施設の名称は「キッズケア ポノ」。場所は、はわい長瀬のアロハこどもクリニックの隣。利用者の便宜を図るため、中部小児科医会と協議を進めている。

問 保護者の利便性は高まると思う。オンライン診療なども検討してほしい。

まずは無事にスタートして、徐々に充実させては。

問 まずは無事にスタートして、徐々に充実させては。

答 医師連絡票など、どのような形でスマート化できるか、今後の研究課題として取り組んでいきたい。

答 現在の病児保育「きらきら園」は、厚生病院での受診が必要。今後は枠を広げ、中部の小児科医院での受診で受け入れができないか、中部小児科医会と調整している段階。オンライン診療はハードルが高く難しい。

問 中部小児科医会との協議が終わらないと、運営開始ができないか。

答 まずは、厚生病院とアロハこどもクリニックの



子育て世帯を応援（キッズケア ポノ）

2つの医療機関だけで始め、後に中部の小児科医院まで広げる方法もある。現在調整中であり、早い時期に開始したい。

こども園の業務改善を検討

☆保育士の業務負担の軽減と職場環境の改善などを「こども園業務改善推進会議」で検討している。

問 保育士が子どもと関わる時間を確保するには。

答 保育士の負担増の一番の要因は保育士不足。現在の業務を検証しながら対応策も進めつつ、年度末までには改善計画を形にしたい。

問 保護者対応についてはどうか。

答 職員のフォロー体制強化として、園長だけでなく、子育て支援課も一緒に対応したい。職員研修と仕組み作りを進め、個人で抱え込まないようにしたい。

問 すぐに対応できるものと難しいものがあると思うが。

答 できることから取り組みを進め、継続的に見直しをしながら進めたい。

問 おむつのサブスクの検討状況は。

答 保護者の意見を聞きながら、実施の可否を判断していく。

問 若い職員のフォロー体制は。

答 保育士の人員確保に注力しながら、フォロー体制も制度化していきたい。

羽合地域に新たな放課後 児童クラブを開設

☆羽合地域では現在2か所で放課後児童クラブを開設しているが、児童数が増加し手狭になっている。検討した結果、現たじりこども園を活用して令和7年4月に開設する方向で準備を進めている。委託事業者は提案型公募により決定する。委託料は送迎経費年間250万円を加え、全体で7千20万円を予定している。

問 7年度の羽合地域の児童クラブの登録者数の見込みは。

答 7年度の羽合小学校の児童数は推計で573名。登録者数は261名。利用者数は156名となる見込み。羽合第1と第2は子ども会単位の人数に応じて分け、羽合第3は田後地区の児童38人を予定している。

問 公募期間が短いのではないか。

答 スケジュールから

見て、もっと早く委員会に提案し、協議していただく時間を確保すべきであった。前倒しして、予算成立の条件付き公募などを考えていきたい。

問 町内6児童クラブを一括して公募するのか。

答 支援員の柔軟な配置、窓口の一本化を考えて、6クラブ全部を一括して募集する。

問 長期休業時の対応、学校からの移動方法、児童支援員の配置など様々な問題の対応は。



来年度より羽合第3放課後児童クラブとして活用するたじりこども園

答 現行の運営体制の中で、委託事業者と協議し、支障が起きないようにしていく。公募仕様書の中で、課題は詰めていく。

新たに3期計画を策定

☆第2期町子ども・子育て支援事業計画の事業実施の評価と検証を踏まえ、第3期の計画を策定中。基本理念は第2期を踏襲し、子どもの笑顔があふれる活気ある地域をめざす。

問 人口の推計に問題はないか。

答 現状での人口推計だけでなく、社会的要素も加味している。

問 泊地域のこども園の再編は進展しているか。

答 保護者の意見統一など各所の調整ができていない。こども園の在り方検討委員会の答申を踏まえ、今後協議していきたい。

問 新たに民間保育所ができれば、受け入れや保育士確保の課題は解決できるか。

答 田後地域に令和8年4月開園で申請が進んでいる。町全体で、施設の在り方について一定の方向性を出す必要がある。

本会議での採決結果

12月定例会

議案の採決は、河田議長を除く9人で行います。今定例会に提出された議案はすべて全会一致で可決しました。

請願・陳情審査

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

陳情

件名	陳情者名	採決結果	委員会の意見
「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情について	鳥取県高等学校教職員組合 中部支部 支部長 磯江 英樹 鳥取県教職員組合中部支部 支部長 山根 義孝	採 択 (全会一致)	国に意見書を送付
臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人中国における臓器移植を考える会 代 表 丸山 治章	継続審査	—

ファクシミリ・電子メールでの提出も受け付けます！

記載内容、提出先など手続きに関することは町ホームページをご確認いただくか湯梨浜町議会事務局へお問い合わせください。



全国町村監査委員協議会表彰 ＜光井 哲治 議員＞

監査委員として7年以上在職し、本町の監査に尽力するとともに、地方自治の振興発展に貢献した功績により、全国監査委員協議会から表彰されました。



総務大臣感謝状贈呈 ＜増井 久美 議員＞

町村議会議員として通算35年以上在職し、地方自治の発展に貢献した功績により、総務大臣から感謝状が贈呈されました。



町政をただす



12月定例会では、5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

一般質問とは、議員の日常の活動と調査研究、住民の声や自身の考え方にもとづき、町長や教育長の方針を問い質すものです。

質問時間は、答弁も含めて1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質 問 事 項	ページ
小川 遊	「地域おこし」とともに「地域のこし」の視点を	10
増井 久美	滞納整理は町民に寄り添う方向で	10
松岡 昭博	民間委託後、順調に運営されているか	11
	本町の防災対策は	
光井 哲治	予算編成と財政調整基金の考え方は	12
	中部ふるさと広域連合ごみ処理手数料について検証	
米田 強美	業務改善の検討を	13
	蛍光灯製造廃止の取り組みは	

「地域おこし」とともに 「地域のこし」の視点を

町長

大切な視点として積極的に推進



おがわ ゆう
小川 遊

【小川】人口減少地域では、企業や店が撤退し、住民の生活そのものが維持できなくなるといった問題が全国的に発生している。そんな中で、北海道の生活協同組合の取り組みが注目されている。内閣府の地域経済分析システム（RESAS…リサス）の地域経済循環率を見ると、湯梨浜町は地域内に資本が残りにくいデータになっている。本町のこの状況をどう考えるか。

湯梨浜町は、地域内に資本が残りにくいのでまちづくりに「地域のこし」の視点を。



RESASで
データを
確認できます

地域経済循環率を高めることは、地域の持続可能な発展において重要な課題であり、それを念頭に置いて町政を進めたい。

【小川】今後の地方創生に関する新たな総合戦略には、「地域おこし」だけでなく「地域のこし」の視点を入れてほしい。

【町長】町のデジタル田園都市総合戦略の事業計画を「地域のこし」の視点で見ると、まちづくり創造事業、買い物困難者対策などを進めている。「地域のこし」は、地域を守ることであり、大切な視点として積極的に推進したい。



ますい くみ
増井 久美

滞納整理は 町民に寄り添う方向で

町長

助言や納付計画の提案を行っている

【増井】町は中部広域連合に税金の滞納整理を委託している。この滞納整理について問う。

滞納者に中部広域連合に徴収委託することを知らせているか。

【町長】法令により督促状を發布し、それ以降も催告書を送付している。催告書の中に、納付されない場合は広域連合に徴収委託する旨を記載し、周知を図っている。

【増井】滞納者の相談にきちんとのおつているか。

【町長】滞納者が完納できるように助言や納付計画の提案を行っている。

【増井】徴収猶予申請書について説明しているか。

【町長】一括納付が困難な場合は、徴収猶予制度について説明し、利用の意向を確認している。

【増井】重層的支援体制整備事業との関連はどうなっているか。

【町長】国で「総合経済対策」が示され補正予算が成立次第、本町でも早急に給付金支援などに努めたい。

【増井】物価高騰や、ガソリン高騰、灯油高騰など町民の生活は大変である。具体的な直接支援をとしてはどうか。

【町長】国で「総合経済対策」が示され補正予算が成立次第、本町でも早急に給付金支援などに努めたい。

【町長】重層的支援事業メニューの「暮らしサポートセンター」は、まさに個々の世帯の状況に合わせた支援プランを作成し、様々な伴走型支援を行っている。



中部ふるさと広域連合（北栄町）

民間委託後、順調に 運営されているか

町長

自己評価と外部評価でチェックし運営



まつおか
松岡
あきひろ
昭博

【松岡】放課後児童クラブの運営は、令和4年度から民間委託されたが、保護者から色々な声が聞こえてきている。

運営主体は運営内容について評価を行い、公表するようになってきているが、その内容はどうなっているのか。

【町長】保護者アンケートによる外部評価では、毎年9割以上の満足評価を頂いている。各職員がチェックリストで自己評価を行い、事業所内で共有し、改善をしている。

【松岡】放課後児童クラブは、生活や静養のための専用区画面積を確保できているのか。

【町長】近年、クラブの利用者が増加し、基準の面積1・65平方メートル以上を確保する



支援員の話聞く児童
(東郷第1放課後児童クラブ)

ことが難しくなっている。利用状況を見ながら体育館、空き教室を活用し分散対応している。

【松岡】東郷放課後児童クラブは、登録者数が多く以前から問題視されている。どう対応するのか。

【町長】東郷第1では定員オーバーの状況が続いているが、平日は一度に過密となる状況は少ない。長期休業時は、児童数が多くなり体育館や空き教室を活用し対応している。今後も利用児童数の動向を見ながら適切に対応する。

本町の防災対策は

町長

訓練ごとに反省点を

実践に沿って改善

【松岡】毎年、総合防災訓練が開催されるが、自主防災組織が十分に機能しないと、砂上の楼閣になってしまう。

今年の訓練は、想定された甚大な地震被害を現場に反映した訓練になっているのか。

【町長】本年は長瀬地区を対象に地震を想定した避難訓練を行った。広範囲から避難する方式として過去にない規模の訓練となった。一定の成果があったと思っている。

【松岡】今までの総合防災訓練の反省点を踏まえ、訓練内容をどのように改善してきたのか。

【町長】訓練に参加した各機関、町防災会議から



避難訓練の炊き出し (門田)

意見収集を行っている。避難者の受付方法の改善や炊き出し材料を当日に用意するなど、実践に沿った訓練に変更した。

【松岡】町は防災士と連携をとっているのか。また、防災士は、どのような活動をしているのか。

【町長】町に登録された

防災士は70名で、町よりスキルアップなどの各種研修の案内や情報提供を行っている。今年は防災士に、避難所の受付や配食に参画いただいた。また各集落の防災訓練にも参加指導をいただいている。各集落に1名以上の防災士育成をめざしている。

予算編成と財政調整基金の 考え方は

町長

事業の統合・縮小・廃止を進めたい



みつ 哲治
光井 哲治

【光井】本町の財政は決して豊かな状態にあるとは思えない。財政調整基金は緩やかに減少しており、注意アラートではないか。健全化判断比率を地道な努力で改善されたのは評価できる。しかし、他の指標比率は決して楽観視できない。どう判断しているか。

【光井】基金取り崩しを回避するためには、事業のスクラップ&ビルドが必要だと思うが、どのように進めていくのか。

【町長】令和7年度の当初予算では、優先順位を付けた財源の検討と、事業の統合・縮小・廃止を進めた編成に取り組む。



予算編成中枢の財務管財係

【町長】基金は、平成27年度末に31億円を超えた。しかし、中部地震の復旧や中学校建設などで8億円を取り崩し、その後は横ばいだが、今後は取り崩し額が増える可能性がある。

【町長】喫緊の財政課題である災害減災に対応した、インフラ整備の莫大な投資をどうするのか。

【町長】上下水道料金検討委員会や議会の意見をしっかりと受け、料金の改定などによる自己財源確保を検討し、来年の9月議会に提案したい。

中部ふるさと広域連合 ごみ処理手数料について検証

町長

運搬事業者に説明していれば、 理解が進んだ

【光井】町執行部からではなく、外部からごみ処理手数料改定の情報を知ること自体、議会軽視ではなかったか。広域連合事業は多岐に及び、湯梨浜町負担金も多額になる。どのような経過でこうなったのか。

【町長】手数料改定についての審議会からの答申は、ごみ処理施設運営費の上昇が続き、各市町の負担が増加するため引き上げが適当であるとのことであった。

しかし、引き上げ額が多額であったため、連合会議において令和8年までの段階的改定が提案された。

【光井】市町の負担金を含む手数料改定後の全体像が見えてこなかった。分かったことは運搬事業者と連合との関係が不明確である。どう判断したのか。

【町長】ごみ処理手数料は平成20年から改定しており、運営費上昇分を市町の負担金でカバーしてきた。

その辺の事情を運搬事業者に説明していれば理解が進んだ。

【光井】ごみ排出事業者と運搬事業者との契約がスムーズにいつているの



ほうきりサイクルセンター

か疑問である。運搬事業者からの情報収集はしているのか。

【町長】今年度分の経費の改定を行っていない事業者もあると思っている。連合会議で議論したい。

業務改善の検討を

町長

自治体DXなどで改善に取り組む



よね だ つよ み
米田 強美



高齢化の進展で、益々忙しくなる
福祉課

※自治体DX

行政サービス向上のため、デジタル
技術を活用して業務効率化を図るもの。

【米田】人口減により、財源不足と人材不足が懸念される。新たな事業や住民サービスが増える中で、職員の負担は増えている。事業の廃止や業務のプロセスを見直すことで、職員の負担軽減と財源不足の対応が進むと考えるが、これまでの取り組みを問う。

【米田】プログラミング不要で業務アプリを開発できる「ノーコードツール」を活用し、業務改善する取り組みが増えている。デジタル・みらい戦略課を中心に各課が取り組んでいるのか。

【米田】国から製造廃止などの事務連絡が出され、計画的なLED化も促されている。本町のLED化について計画を問う。

【町長】現在、そのために見積徴収や情報収集を行っているが、既存業務の中で過度な負担にならないよう、徐々に普及させていくイメージで検討している。

【町長】令和9年度から年間100基を目標に蛍光灯や水銀灯などからLED灯への交換を行っている。令和8年度中には、町管理のすべての街路灯がLED灯となる予定。

【町長】令和9年内にすべての蛍光灯の製造及び輸入が廃止される。今後町報などを活用し周知を図る。LED照明へのシフトについては、新築や改築の場合は、LED照明の設置が標準。また、電気料金などのメリットもあり補助制度は考えていない。

蛍光灯製造廃止の取り組みは

町長

計画的にLED化を進めている



スポンサーがなく、点灯されない街路灯

【米田】街路灯組合・旅館組合などの街路灯について、事業者が少ない中でLED化は財政的に大きな負担になると考えるが、所見を問う。

【町長】街路灯運営組織に関しては、近年のLED化への更新対応は、年間平均2基程度であり維持は可能と考える。現在の町の支援は1基につき2千400円であるが、場合によっては町補助金も含めて検討していく。

【米田】町民への蛍光灯生産中止の情報提供を、どのように進めていくのか。また、LED化の早期実現に向け、補助金の拡充などについて問う。

多くの町民から意見・提言

観光振興と地域活性化

- ・旧東郷中学校跡地における松井酒造の蒸溜所計画の進展が不透明であるため、町民への情報公開が必要では。

また、議会も責任を持って進捗を確認し、観光振興を推進してほしい。

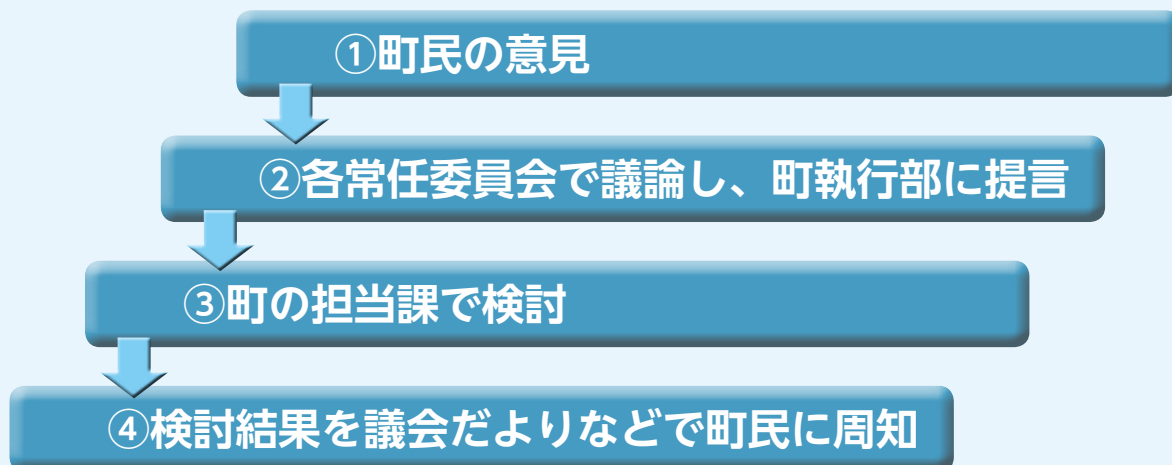
- ・イベントの際に東郷池周辺だけでなく中山間地まで範囲を広げるなど、奥の地域まで人の流れがいくようにしてほしい。

議会（意見交換会）

- ・女性や若者の参加者が少ないため、ターゲットを絞った上で、議員が出向いて意見交換会を行うなど、参加しやすい工夫が必要。



意見交換会で出された意見の今後の流れ



議会で議論して、町執行部に提言していきたいと思います。

河田 洋一議長

第10回「ふれあい意見交換会」

今回で第10回目となる議会と町民との意見交換会「ふれあい意見交換会」を令和6年11月18日（羽合地域）、20日（泊地域）、22日（東郷地域）の3会場で開催しました。

議会・町政に対して、多くのご意見・提言をいただきありがとうございました。町行政に関するご意見・要望などは、町長行政局に回答を求め、議会として検討するものは各委員会で協議していきます。

今回号では、ふれあい意見交換会でいただいたご意見などをご紹介します。

各地域参加者数

羽合地域・・・17名

泊地域・・・9名

東郷地域・・・14名

災害対策と防災関連

- ・旧北湊中学校跡地を災害時の仮設住宅建設地として確保してはどうか。
- ・湯梨浜町総合防災訓練について、訓練後の町反省会の意見を参考にして、各公民館や区単位でも反省会を行うように促してほしい。

空き家問題

- ・老朽化した空き家が倒壊や動物被害の危険を生んでいる。通学路の安全を守るためにも対応をお願いしたい。

子育て支援と子どもたちの安全

- ・こども園運動会の雨天時の代替場所が不足するため、町全体でスケジュール調整を行ってほしい。
- ・保護者の仕事の都合も考慮し、放課後児童クラブの受け入れ開始時間を早めてほしい。
- ・放課後児童クラブの体験活動や地域との連携を充実させることで、子どもたちの学力アップにつながるのでは。
- ・自転車通学が危険な箇所がある。通学路の拡幅や両歩道・スクールゾーンの設置など、安全な通学路を整備してほしい。
- ・はわいトレーニングセンターの階段のひび割れや駐車場の暗さなど、施設の安全面が危惧される。子どもたちが安心して利用できる環境にしてほしい。



町民インタビュー

【子育てと仕事を両立できる「居場所」】

アロハこどもクリニック

キッズケア ポノ 遠藤 充 さん（はわい長瀬）



今回の町民インタビューでは、アロハこどもクリニックを運営しながら新たに病児保育室をオープンする、遠藤さんにインタビューしました。

病児保育室をはじめようと思っただけじゃ、想いを伝えてください。

小児科医として診療を行う中、子育て世帯が抱える様々な課題に向き合ってきました。お子さんが体調を崩した際、「仕事を休めない」という声も多く耳にしてきました。

そこで、病気をみるだけにとどまらない、子育て世帯の支援拠点を作りたいと考えました。クリニック併設の病児保育室という特性を活かしながら、ご家族が安心して子育てと仕事を両立できる「居場所」を提供したいと思ったのです。

病気のお子さんのケアは、体力も気力も時間も必要です。そんな時、医療専門職によるケアと、交流の場があれば、ご家族の心の支えになれるのではないかと考えました。

「病気の子は親がみるべき」という想いも大切にしつつ、現代社会は家族形態や働き方が多様化しています。そのため、お子さんとご家族にとって最善の選択ができるよう、病児保育という新しい選択肢をつくりたいと考えています。

病児保育室はどのような人や場面で使ったらよいですか？



キッズケア
ポノ

生後6か月から小学校3年生までのお子さんが対象です。発熱やインフルエンザなどで、こども園や学校に行けない場合に利用できます。とくに急性期や、回復期でもまだ周りに感染させてしまう危険がある時期にご利用ください。

お子さんの急な体調変化に備えて、事前登録をしていたくことで、緊急時にもスムーズにご利用いただけます。「ここがあるから安心」と感じていただける居場所をめざしてまいります。

子育て世帯の新たな希望になると思います。ご発展を期待しています。ありがとうございます。

病児保育予約システム「あずかるこちゃん」のWebサイトです。事前登録をすすめていただけると助かります。



「あずかるこちゃん」
事前登録Webサイト

議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

3月3日(月)～
午後1時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページへ。

編集後記

先日、ある新聞社から「わが町・ふるさと」という、ふるさと自慢の記事を依頼された。いつも議会では、批判や要望をってきた私なので、はたと考えてしまった。

合併して20年が過ぎた。3町村の良いところは残しつつ、新しい町として発展していくという思いは達成したのか。自然は美しく、住む人は穏やかで、若い人たちの新しい文化が芽生えつつある。ここに多世代を巻き込んで、一緒に何かが始まれば、この町はもっと発展するのではないか。「歴史と新しい文化が混在する町、湯梨浜町」と、私は紹介した。

(記 増井)

【編集】

議会広報常任委員会